

新築現場情報

駿東郡清水町K邸の新築工事
木工事順調に進行中です。
毎日寒い日が続いていますが
3月完成に向けて頑張っています！

清水町 K邸



藤枝市 F邸

藤枝市善左衛門にてH邸着工しました！

棟梁は、大石晴夫建築様にお世話になります。1月21日に着工式を行いました。若いご夫婦で、薪ストーブも設置する予定です。屋根は平板瓦、外壁はサイディング・ガルバニウム鋼板です。

2月中旬に上棟、完成は6月中旬頃の予定です。



焼津市 Y邸にて 台所リフォーム工事を行っております。内装・キッチン等取替工事を行っています。

藤枝市 I邸にて 外壁塗り替え工事を行っています。尚、I邸ではこの後、車庫の建替え工事を予定しております。



(株)ナガイ 島田市牛尾510-2 TEL (0547) 45-3501

木くぼり

樹木の不思議 58

昔々の別れ話

ユリノキ



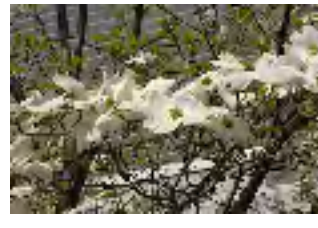
シナユリノキ



ヤマボウシ



アメリカハナミズキ



“ユリノキ”は、モクレン科ユリノキ属の植物です。成長が速くまっすぐにぐいぐいと伸びて樹高50mにもなります。葉はハンテンボクという和名が示すように奴さんの袈纏のような形をしており上向きに咲く大きな花はホオノキなどモクレン属の花にも似ています。アメリカ合衆国東部にインディアンが暮らしていた頃からあったというユリノキはヨーロッパには17世紀に渡り、日本には明治初年に渡来し、各地で街路樹や公園樹として植栽されていますが、樹高40mを超えることはめったにありません。

ユリノキ属には現在、ユリノキと中国大陸中部に産するシナユリノキの二種しかありません。興味深いのは、その分布がアジア東部と北アメリカ東部とにかけ離れていることです。

ユリノキの化石はヨーロッパや、現在では自生の樹種が一つもないアラスカのような地域からも、白亜紀後期以降の地層から見つかっています。白亜紀といえば、大繁栄した恐竜が急に絶滅していった時代です。ユリノキは恐竜が絶滅する頃からかなり広く繁茂するようになった植物と推定されます。ところで日本でもユリノキの仲間と考えられる化石が発見されていますが、それらは大陸から日本に移動してきたとも考えられます。

このような遠隔地に近縁の植物が隔離して存在することをどのように受けとめたらよいのでしょうか。今はユリノキを産しないアラスカや北アメリカ西部からユリノキ属の化石が見つかることは、ひとつのヒントです。氷河のような気候変化によるものか、はたまた大陸移動に伴うものなのでしょうか。

北アメリカ東部と東アジアに分布する近縁の植物は…

日本のヤマボウシとアパラチアのハナミズキ 日本のフジとアメリカフジ キササゲとアメリカキササゲ カキとヴァージニアガキ マンサクとアメリカマンサクなど

東京書籍 「森の木の100不思議」